

題材の目標

- (1) 世界美術の歩みにおける絵画の歴史や作風について理解することができる。
- (2) 作品の造形的な美しさ、作者の心情や意図について考えることができる。
- (3) 第1学年での学習を振り返るとともに、絵画における自己表現の素晴らしさに関心をもち、理解を深め、第2学年の学習に意欲をもって取り組もうとする。

標準的な展開例

【準備等】ワークシート、タブレット端末、筆記用具

| 学 習 活 動 | 留 意 事 項 な ど |
|---|--|
| <p>1 第1学年での学習内容を確認するとともに、第2学年での学習内容を知り、学習計画を立てる。</p> <p>★富士山を通して画家たちが表現したかったことは何だろう。</p> <p>○第1学年での学習内容を想起し、発表させる。</p> <p>○教科書の作品を三つのヒントを基に鑑賞し、表現や手法の違いを知ること、見方や意図について考え、ワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「凱風快晴」 葛飾北斎 ・「山下白雨」 葛飾北斎 ・「霊峰富士」 横山大観 ・「春の富士（梅）」 片岡球子 <p>○教科書の作品を見比べ、作者の心情や意図について考え、意見を発表したり、ワークシートに記入したりする。</p> <p>○作品のよさを感じながら、これからの学習に興味をもてるようにする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・技法や作品から考えさせ、第2学年の制作や鑑賞の計画を知らせる。 <p>【評】第1学年の学習内容を制作した作品や技法などの観点で想起し、発表する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2次元コードを読み取り、作品をよく見て気付きや印象を記入させる。 ・教科書の他の作品と比べることで、表現のよさや特徴、工夫を見つける。 ・浮世絵が制作された背景や過程を知らせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書上P. 58～P. 61「日本美術と世界の美術の歩み」のページを参考にして、西洋における絵画の歴史に新しい世界を導き出した浮世絵の作風について解説する。 <p>【評】美術作品のよさや美しさ、作者の心情や意図を発表したり、ワークシートに記入したりする活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年の学習からさらに発展させ、第2学年では、美術文化の継承と創造について考えることを知らせ、2年生の学習への期待感をもたせる。 |

【備 考】

本題材では、第1学年での学習を振り返ったり、確認したりして、さらに意欲的に授業に取り組めるようにさせたい。

第2学年から年間 35 時間の授業実施となるので、1時間の授業の流れや約束を確認し、授業への心構えや時間を有効に利用する方法についても考えさせたい。

また、教科書上 P. 58～P. 61「日本美術と世界の美術の歩み」のページを参考にして、西洋における絵画の歴史にも触れておきたい。

各学校の実態に合わせ、鑑賞作品を選択したい。スライドやビデオ、プロジェクターなどの視聴覚機器やコンピュータを有効に活用するとよい。